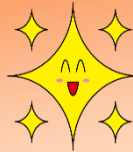


秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

地域支援だより

# きらりNet



令和5年12月22日  
第137号  
秋田県立秋田きらり支援学校  
地域支援部



## 【進路指導について ～中学校及び中学部卒業後の進路等 その2～】

昨年度、「中学校および中学部卒業後の進路指導について（126号）」で、中学校（部）卒業後の主な進路は、高等学校または特別支援学校高等部となることが多いと紹介しました。今号では、その進路先の一つでもある本校「秋田きらり支援学校」の高等部を紹介します。

【秋田きらり支援学校の教育課程】本校の教育課程は3つに分かれています。

- 1組…知的代替の教育課程（生活単元学習や作業学習を中心に）
- 2組…自立活動を主とした教育課程（身体の動き、コミュニケーション等を中心に）
- 3組…高等学校に準ずる教育（教科書を使って学習：単位取得制）

時間割						
	月	火	水	木	金	土
1						
2						
3						
4						
5						
6						

本校に入学を希望する場合、または他校と本校で迷っている場合は、対象となりそうなクラスを中心に授業の見学や支援等の相談をする**教育相談**と**体験学習**を行います。見学だけでは分からないことも多いため、実際に、「見て、感じて、やってみて」、本人が納得した上で、自分の意思で進路決定することが大事です。

進学を契機に、自力通学など、新しいチャレンジを考えてみる機会でもあります（本校はスクールバスもあります）。将来的な自立と社会参加への一歩となるかもしれません。

本校の各クラスの学習等は次のとおりです。

### 1組：卒業後は主に一般就労や福祉的就労（A型、B型、生活介護：作業あり）

自立（職業自立や生活自立）と社会参加を目指し、作業学習や生活単元学習を中心に、様々な学習活動に取り組み、自分でできることを増やすとともに、実体験や実生活への般化を目指した学習を実施。

【進路】希望する場所での事業所見学や現場実習（インターンシップ）等を繰り返し、進路の選択肢を増やし、実際に実習を重ねて、卒業後の進路を決定します。



### 2組：卒業後は主に介護系（生活介護：レクリエーションや機能訓練）

自立活動を中心に、国語や音楽などを通して、他者とのやり取りの楽しさや様々な自己表現の獲得を目指しながら学習を実施。

【進路】1組同様に実習等を繰り返し、希望するサービス（入浴や医療的ケアなど）に応じた進路を決定。



### 3組：卒業後は主に一般就労や進学、福祉的就労

高等学校と同じ教科学習。本校独自の設定教科である「社会生活」の他、令和5年度より、生活力（生きる力）や情報スキルを高める目的で「家庭科」、「情報科」の時数を増やし、進路や将来の社会生活に必要な学習を実施。

\*進学を考える場合は、本校で取得できる単位が希望する大学の単位に満たない場合があるため、教育相談の中で確認をしてください。



高等部（高校）卒業後の進路もイメージしながら、「中学校卒業後の進路選択」に役立ててほしいと思います。

さらに詳しく知りたい場合は、いつでも本校までご連絡ください。（文責：伊藤 和樹）

## 高等部1年3組「社会生活」(\*)の学習から～「働くこと」を考えよう～【高等部:準ずる教育課程】

### ★目標から抜粋★

- ①自己理解を深め、進路選択、職業選択に関する能力や態度を身に付ける。
  - ②コミュニケーション力を身に付け、自己有用感を高める。
  - ③生活に関わる制度や仕組みを知り、生活に必要な知識と技能を身に付ける。
- ※「社会生活」は学校独自で設定した学校設定教科です。高1～3年で学習します。

1学期は、「自分を知ろう」で目標や夢、長所と短所を考える活動を通して自分について振り返りました。また、1～2学期は、「働くことを考えよう」で働く意義や校内実習の見学・体験、職業調べを行い、「進路を考えよう」で進学希望の大学を調べるなど、少しずつ将来の自分の姿を考えています。進学希望の生徒たちですが、個々の希望や状況に合わせてながら、「進学」と「将来の社会生活」の両面から学習を行っています。

2学期は「本に関わる仕事がしたい」という生徒の希望から、図書館での現場実習を行いました。実際の仕事内容を知るとともに、働く喜びや厳しさを感じることができたようです。また、初めて路線バスを利用して通退勤したり、自宅への帰着を知らせる電話を掛けたり、初めての経験から学ぶことも多くあり、今後の生活や学習に生かしていこうと話しています。校外での実際の体験を通して考えること、知る・感じること、振り返ることの大切さを強く感じました。

(文責：小野寺 珠貴)



【雨天時の通勤】



【返却された本の整理】

働くのは大変だなと思いましたが、興味のある職場だったので楽しく感じました。立ち仕事や歩き回る仕事があり、疲れました。でも、学校の疲れとは違って、達成感や充実感を感じることができました。

### 教育専門監のつぶやき

### ～キャリア教育と学級経営～

「教科等を通じた日々の学び」と「地域・企業等との連携による体験を通じた学び」はキャリア教育推進の2本柱です。2本柱の学びを関連、充実させることで、「なぜ学ぶのか、どういった力が身に付くのか」という、教科等を学ぶ本質的な意義の認識の深まりをねらいます。

本校高等部では「現場実習」として、個々に応じた体験活動等を実施します。小・中・高等学校でも「まちたんけん・商店街や工場見学・職場体験活動・インターンシップ」などが実施されています。

一方、各教科等における日々の学びの中でも、児童生徒は、自己の将来とつながる多くの気づきをしているはずです。「この学びは社会のあの部分に活かされているんだ」「自分の将来のあの場面に役立つな」各々の教科での学びをつなげる「要」となるのが「特別活動(学級活動)」です。

「学級活動がキャリア教育の要」。これは学級経営にも大きく関連しそうです。担任の先生の腕の見せ所。みんなちがって、みんないい、居心地のいい、そして学びのある学級づくりに期待します。

(文責：近江 美歩)

教頭 佐藤 茂樹 地域支援部主任 高橋 亜紀

住所：〒010-1409 秋田市南ケ丘1丁目1番1号

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575



「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>

